

～輝く未来のために～

受験の心構え

＜非売品＞

学習・進路についての心構え・成績をあげるコツ

1. 「石の上にも3年」

・・・進路開拓のためには、1年生の時からしっかりと勉強すること。

2. 質よりも量をこなせ。

『学業成績＝学習意欲×学習時間×学習能力(方法)』
毎日、(学年＋1)時間の家庭学習をする。
何でも36回で記憶定着。

3. 勉強方法を工夫せよ。

- ①学んで理解したと思うことは機会があるごとに繰り返し理解せよ。
- ②「復習」には力を入れ、どんな時でもかかすな。
- ③決して、一度にまとめてやろうとするな。
- ④丸暗記に頼らず、なぜそうなのか、その内容や理由をよく考えながら覚えよ。
- ⑤粗雑でも速く・正確をモットーに。

4. 授業を大切に。

5. 朝の学習の習慣をつける。

『勉強十教訓』

①決まった時間に決まった場所で決まった科目を勉強する。

②どんな時でも自分一人で勉強するという気持ちで勉強する。

③勉強したことは必ずノートにとっておく。

④勉強中、気が散らないようにする。

⑤学習のよい環境をつくる。

⑥本は詳しく読む前に、全体をさめと読む。

⑦本はできるだけ速く読む。

⑧勉強の後、すぐ暗唱する。

⑨いつも問題をもって学習する。

⑩勉強内容を人に教えるように声を出して説明してみる。

受験直前・直後の心構え

○受験前日・・・心穏やかに過ごす。

「もう少しやっておけばよかった」「まだやり足らない」という人もいるかもしれませんが、もう時間がありません。今から出来ることは、今日一日、何事にも穏やかに過ごすことを実行してください。決して怒らず、人には優しく接すること、心をやめたりさせ、焦る気持ちを落ち着けてくれます。これが「心の準備」です。怒られても怒らず、用事を頼まれても断らず、穏やかにゆくり通ぐすのが一番です。「やるだけのことではやった」「やれることはすべてやった」と準備万端の気持ちになることが大切です。

○受験当日・・・全力疾走。

自分の持っている実力を全開にし、頑張らないといけません。難しい問題も出題されるかもしれませんが、難しい問題はみんなにとっても難しいのです。難しい問題を解答するのに時間を掛けるより、易しい問題、自信のある問題をよく見直して、確実に正解を出し、小さなミスのないようにすることの方が大切です。字を丁寧に書くこと、そして、一つの試験が終わったら、振り返らず、次の試験のために備えることです。

○合格発表の日・・・感謝・決意

合格した人は、「おめでとう！」しかし、自分一人で合格したのではないということをおぼえてください。「やった！」だけではなく、「ありがとうございました。」の感謝の言葉で合格の報告をしてください。
残念ながら不合格だった人は、いつまでも涙ながみ見せてはおけません。僕(私)を合格させないような学校は縁がなかったものとして、次の作戦を立てて、次への準備に移らないといけません。「お願いします。」と次への決意を言葉で表現してください。

受験本番に強くなるための心得

○試験会場へは、正門から堂々と胸を張って入れ。

○まず教室を見渡して、落ちそうなやつを見つけた。

○友人とは、強気の会話をして周りをビビらせろ。

○休み時間には、絶対に済んだ試験の答え合わせをするな。

○最後の難問にぶつかったら、セーターを一枚脱げ。

○答えに迷った時は最初の直感を信じよ。

「合格思考」～合格するための18の原則～

- ①受かるヤツは、結果が全てと知っている。
- ②受かるヤツは、自分の戦う『型』を知っている。
- ③受かるヤツは、「自信」と「不安」をうまく同居させている。
- ④受かるヤツは、今日が何月何日か知っている。
- ⑤受かるヤツは、「ゴルゴ13」を読んでも、「ああ、いい勉強になった」と言える。
- ⑥受かるヤツには、「メモ魔」が多い。
- ⑦受かるヤツはケータイを捨てられる。
- ⑧受かるヤツは「なが〜い目」を持っている。
- ⑨受かるヤツは、「漢字」と「算」計算」を大事にしている。
- ⑩受かるヤツは、デキルのに「謙虚」
- ⑪受かるヤツは「量より質」を口にしない。
- ⑫受かるヤツは眠いのを我慢しない。
- ⑬受かるヤツは、「アウトプット」を大事にしている。
- ⑭受かるヤツは自分の悪い結果を人に言える。
- ⑮受かるヤツは、今日の？を明日まで引きずらない。
- ⑯受かるヤツは仲間を大事にする。
- ⑰受かるヤツは時間が一番大事なものと知っている。
- ⑱受かるやつは、悩んでいても手は止めない。

＜合格答案7か条＞

- 1. まず、受験番号と名前を書くこと。
特に2科目から書き忘れる多いので注意する。
- 2. 全問題を一通り見て、「難しいもの」と「簡単なもの」を判断し、「簡単なもの」を先に、「難しいもの」は後回しにする。
- 3. 細心の注意で設問を読み取り、設問に合わせて解答する。
(たとえば、記号で答えるべきは記号で答えるなど)
- 4. 字はしっかりとていねいに書くこと。
特に順位ミス、記号ミスを注意する。
- 5. 時間配分を工夫して、1つの問題に関わり過ぎない。
(入試では、満点を取る必要はありません。)
- 6. 採点前に「答案を見ていただく」気持ちで書くこと。
(そうすると、書き方も変わってきます。)
- 7. 最後にもう一度答案(特に設問と答え)を見直しする。
最後の1秒まで得点を1点でも多く取れるようがんばる。

「勝負の世界」と「受験の世界」は共通する。

- 挑戦なくして習得なし。
- 自分だけの武器を研ぎを練る。
- 「沈黙」は必ずしも「静」である。
- 沈黙は、必ず道は拓ける。(はばりが静寂を呼ぶ。)
- 勇氣と謙謙、拙速と待機の違いを知れ。
- 氣が通ずることを。
- 重も実力のうち。
- アプレッシャーを楽しむ。
- 感謝の心に奇跡は宿る。
- ピンチはチャンスなり。
- 活断は一番手強く見える所にある。
- 閉き直ると力みがとれ、冷静になれる。
- 足が非でもという願いは決してかなえられない。
- (「無敵の静寂」)
- 人事を待てる。
- 信じる者を救われる。
- (「必ず勝てる」)という信念をもて、)
- 自力と他力を相乗させよ。
- 暗・文・語・理・算・英・数の効果を知れ。
- 先制・主導・先手を取れ。
- 正をもつて合し、奇をもつて勝つ。
- (正気と条件を使い分けよ。)
- 目的を誤らない。(目的と目標は違う。)
- 戦わずして勝つ。(手段を使わないで勝つ。)
- 兵は国の大事。
- (戦勝に気を付け、ベストコンディションで戦め。)
- 決勝点に全力を集中せよ。

